

## 志賀原子力発電所 2号機 第1回定期検査の開始について

平成19年1月18日  
北陸電力株式会社

当社は、本年4月から実施を予定していた志賀原子力発電所2号機の第1回定期検査<sup>(\*)</sup>を前倒して2月1日から実施します。

志賀2号機については、平成18年7月5日から原子炉を停止し、低圧タービン羽根損傷の点検作業を実施してきました。

また、高圧タービン車室内における粒状金属発見等の事象を踏まえ、昨年10月27日から設備全般の総点検を行っています。今回の定期検査の前倒しは、この総点検の徹底を図るためのものです。

高圧タービン内で発見された粒状金属に関しては、これまでに流入した可能性がある機器を点検し、回収作業を終了しました。今後、設備全般の総点検の中で異物の有無を点検してまいります。

以 上

添付資料 : 定期検査の概要

参考資料1 : 設備の総点検について

参考資料2 : 粒状金属に係る機器の点検結果について

\* 定期検査は、電気事業法により営業運転開始から13ヶ月以内に開始することとなっているもので、原子炉本体、原子炉冷却系統設備、原子炉格納設備等の点検を実施します。

## 定期検査の概要

### 1. 定期検査の期間

平成19年2月1日から平成19年6月上旬まで

- ・定期検査開始 : 平成19年 2月1日
- ・発電開始 : 平成19年 5月上旬
- ・総合負荷性能検査 : 平成19年 6月上旬

### 2. 定期検査および定期事業者検査等を実施する主な設備

- (1) 原子炉本体
- (2) 原子炉冷却系統設備
- (3) 計測制御系統設備
- (4) 燃料設備
- (5) 放射線管理設備
- (6) 廃棄設備
- (7) 原子炉格納施設
- (8) 非常用予備発電設備
- (9) 蒸気タービン
- (10) 電気設備

### 3. 定期検査期間を利用して実施する主な工事等

#### (1) 配管の肉厚を確認する検査

経済産業省原子力安全・保安院文書「原子力発電所の配管肉厚に対する要求事項等について（平成17年2月18日）」に基づき、復水系、主蒸気系、原子炉隔離時冷却系等について、非破壊検査（肉厚検査）を実施する。

（図 - 1 配管肉厚検査対象範囲 参照）

#### (2) 主蒸気逃がし安全弁予備品設置工事

主蒸気逃がし安全弁（18個）全数について、同一設計の予備品と取替え、点検作業の効率化を図る。

#### (3) 低圧タービン整流板設置工事

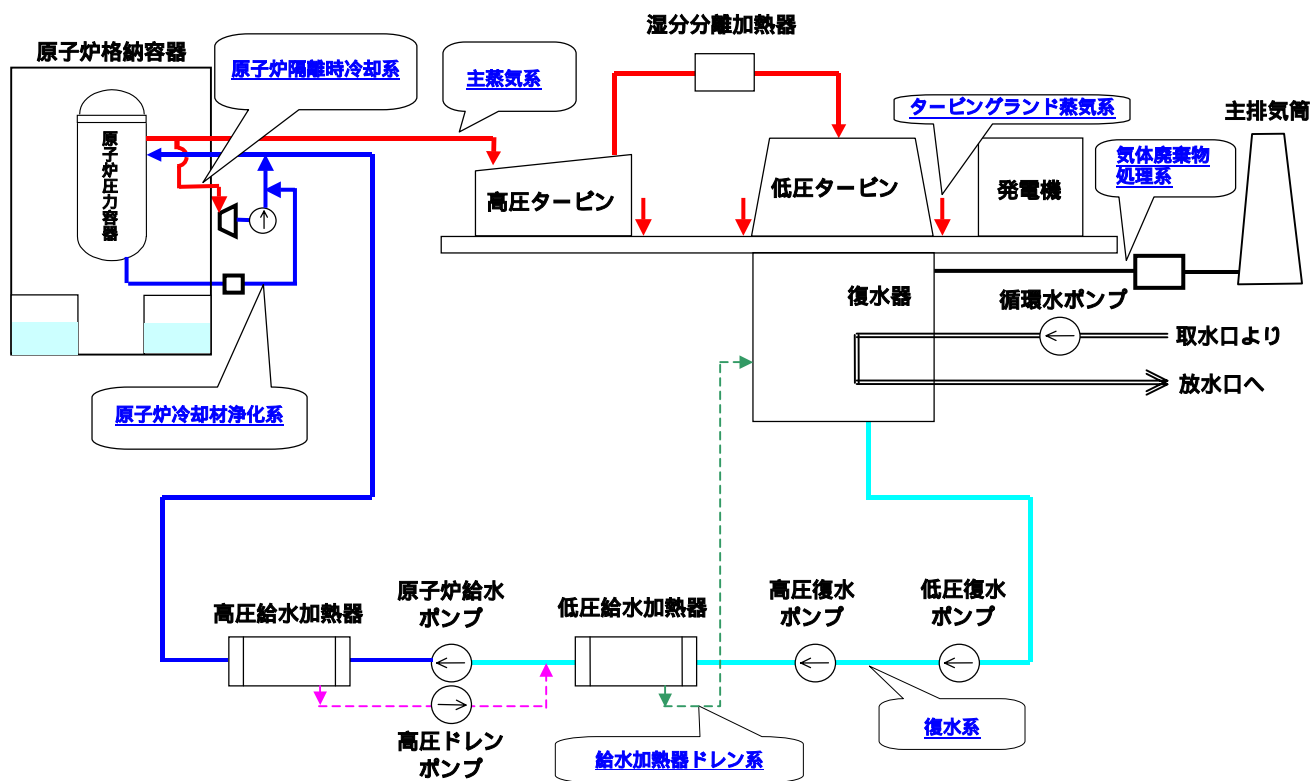
低圧タービン12段の静翼および動翼を全て取り外し、替わりに整流板を設置する。（図 - 2 整流板設置の概要 参照）

#### (4) 耐震裕度向上工事

原子力安全委員会で改訂された「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」の趣旨を踏まえ、更なる耐震裕度の向上を図る。

（図 - 3 耐震裕度向上工事の概要 参照）

以上



系統名	検査数
復水系	約 240 部位
主蒸気系	
原子炉隔離時冷却系	
原子炉冷却材浄化系	
給水加熱器ドレン系	
気体廃棄物処理系	
タービングランド蒸気系	
その他	

図 - 1 配管肉厚検査対象範囲

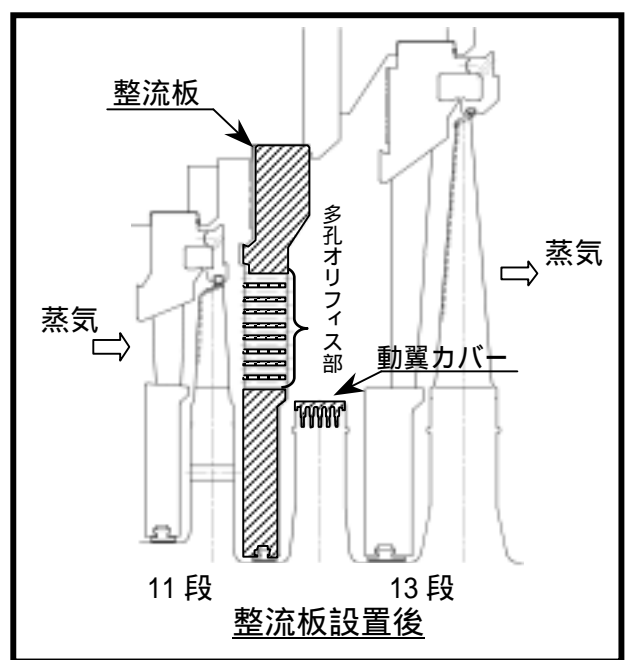
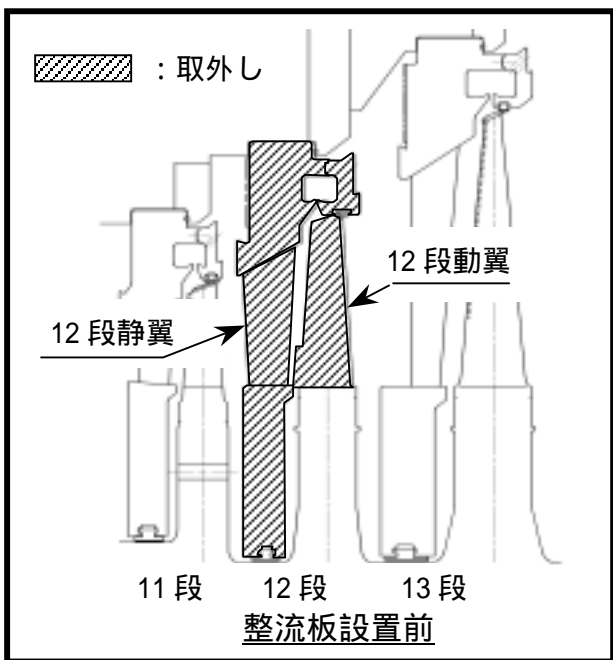
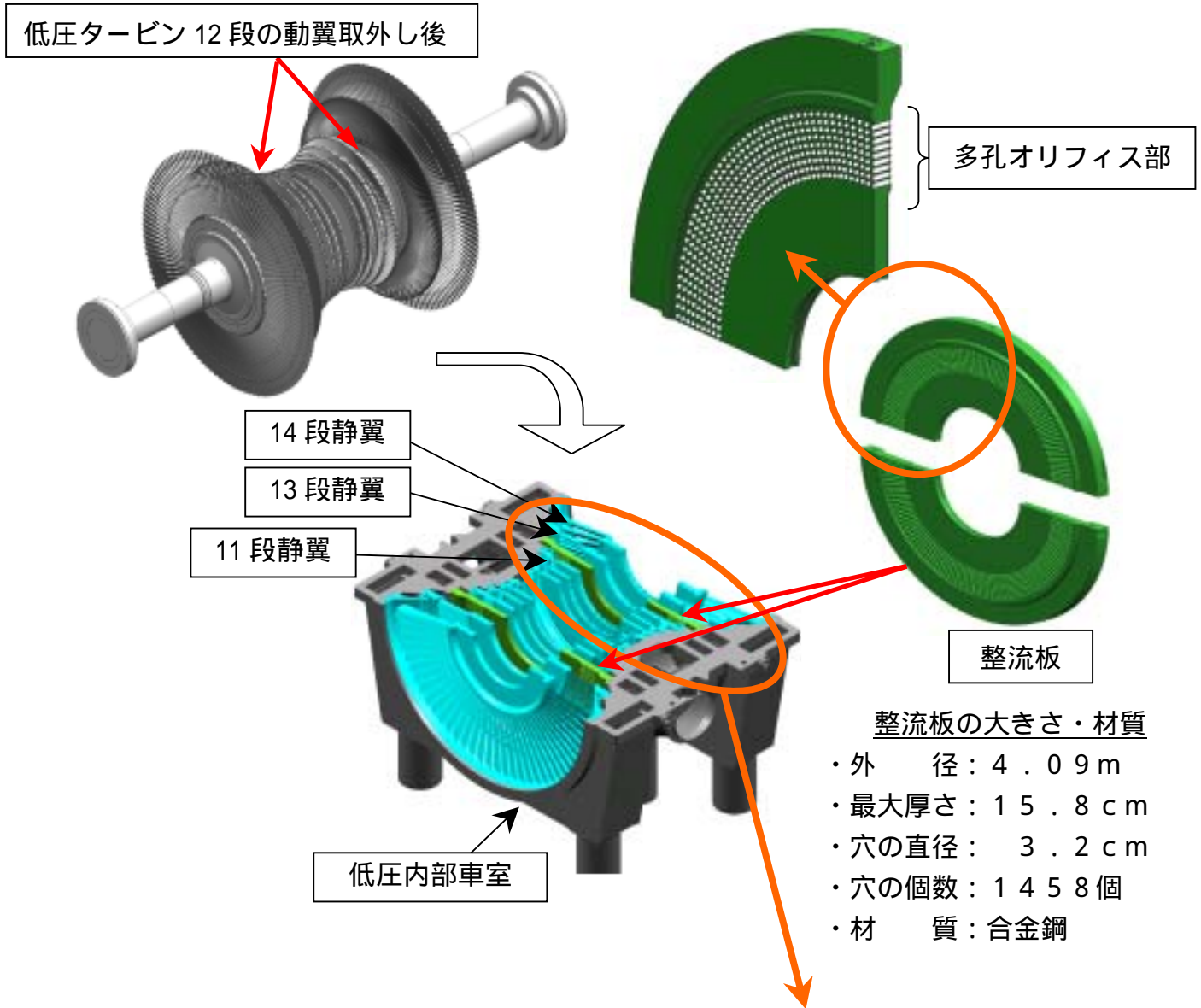
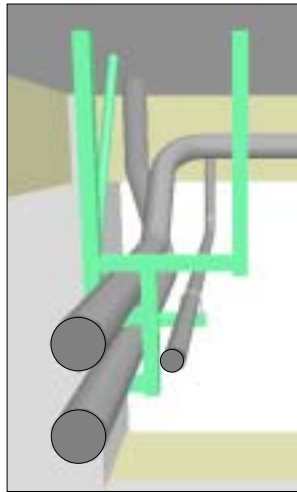


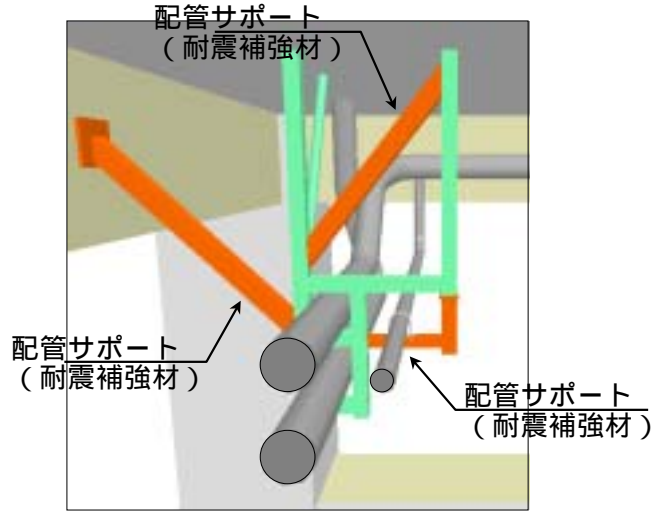
図 - 2 整流板設置の概要

### 配管サポート改造工事（例）

既設サポートに補強部材を取り付けたり，強い部材へ取替えたり，あるいは新しいサポートを追加設置する



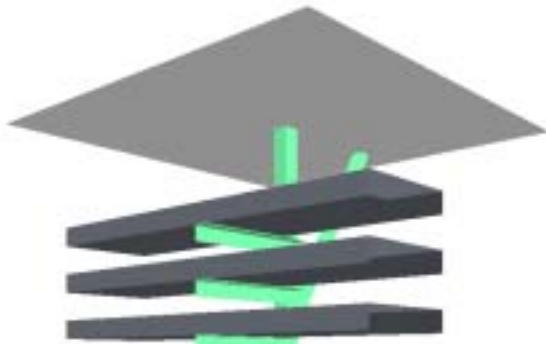
現状



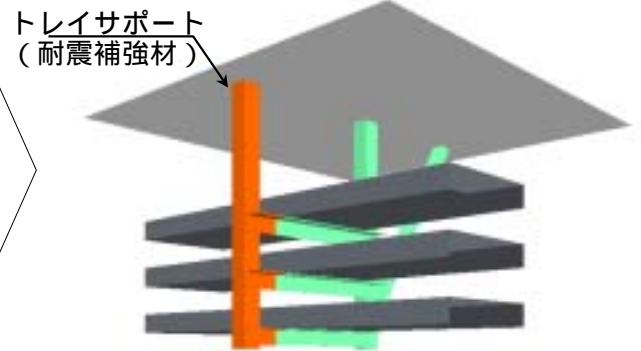
補強後

### 電路類サポート改造工事（例）

ケーブルトレイや電線管の既設サポートに補強部材を取り付けたり，強い部材へ取替えたり，あるいは新しいサポートを追加設置する



現状



補強後

図 - 3 耐震裕度向上工事の概要

## 志賀原子力発電所 2 号機 設備の総点検について

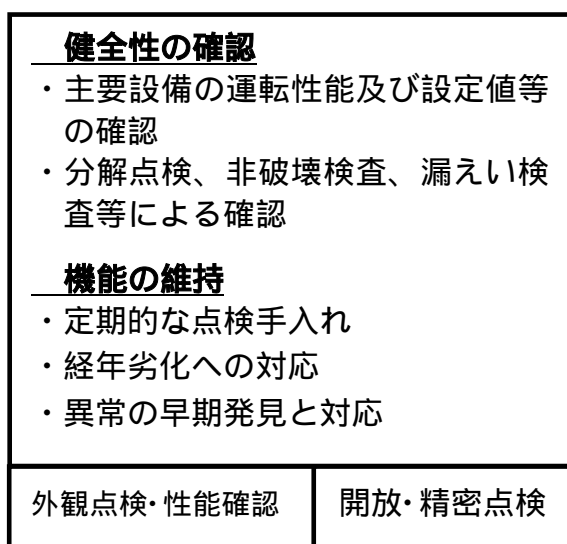
低圧タービン羽根損傷、高圧タービン内の粒状金属発見等の事象を踏まえ、志賀 2 号機の設備全般の健全性について確認するため、発電を停止したまま、タービン設備をはじめ、発電所設備全般にわたり総点検を行っています。

さらに、4 月から予定していた第 1 回定期検査を 2 月に前倒して実施することにより、この総点検の徹底を図ることといたします。

### 総点検の概要

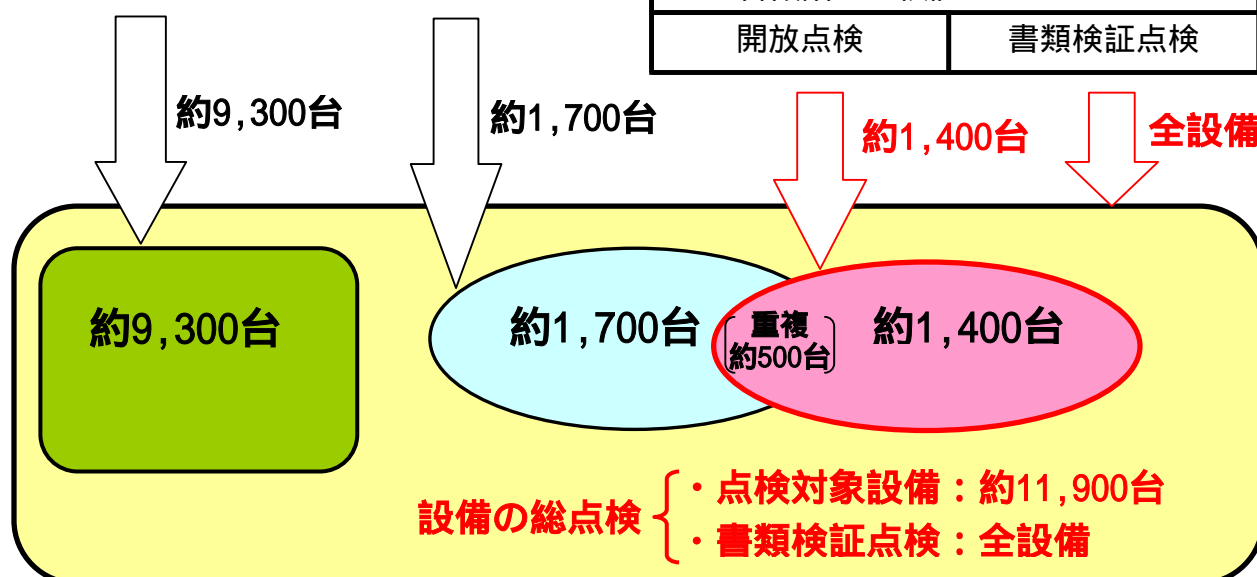
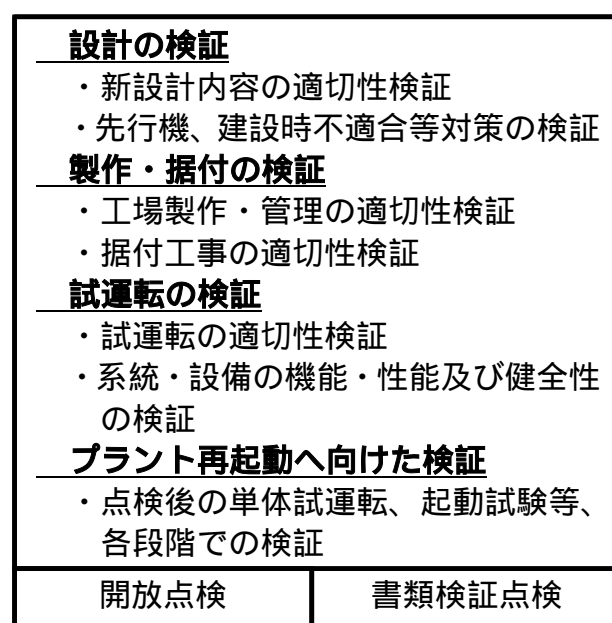
#### 【第 1 回定期検査】

発電所設備全般についての定期検査



#### 【建設の適切性確認点検】

発電所設備全般についての設計、製作、据付、試運転の適切性の検証・点検

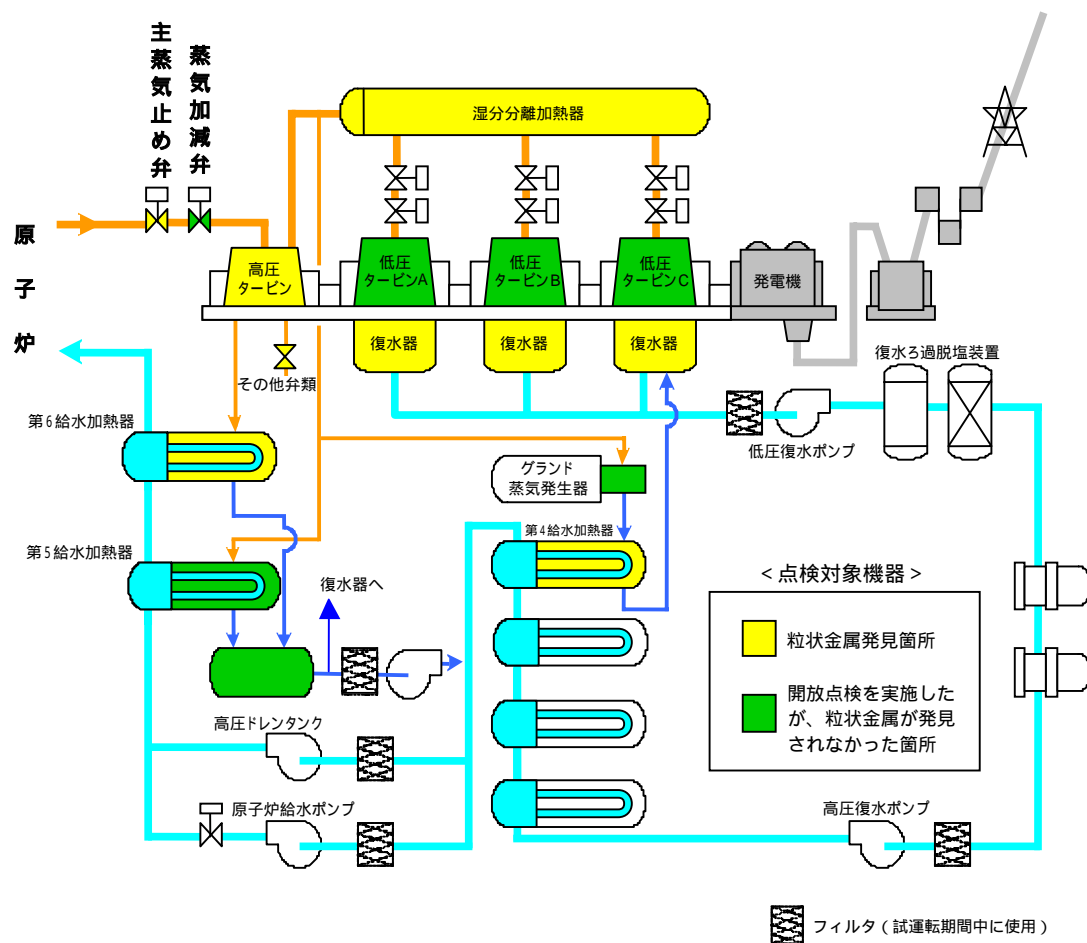


## 粒状金属に係る機器の点検結果について

志賀原子力発電所2号機の高圧タービン車室内で発見された粒状金属(主蒸気止め弁の製造時にショットブラスト作業で使用したもの)に関して、流入した可能性がある機器259台について開放点検を実施しました。

点検の結果、2,136個(156グラム)を確認し、回収するとともに、機器に異常がないことを確認しました。

今後、他の機器についても設備全般の総点検の中で異物がないか点検してまいります。



粒状金属回収結果

調査対象機器名称	個数
主蒸気止め弁	13個
高圧タービン	914個
湿分離加熱器	578個
第6給水加熱器	220個
第4給水加熱器	10個
復水器	20個
その他(弁等)	381個
合計	2,136個(156g)